



ホームステイ : *Airbnb*

韓国ソウル在住 経済学部 2004 年卒・修士 2006 年 土門 理絵

Airbnb やカウチサーフィンのホストの経験を通じて

“Travel like a local”という言葉 皆さんはご存知だろうか？これは、欧米や英語圏のアジアの国々で近年、急成長を遂げている宿泊サイト “Wimdu” のキャッチコピーである。未だに留学斡旋業者や大手の旅行会社が幅を利かせている日本では馴染みの薄い言葉かもしれない。しかし、ホテルやモーテル等に滞在する既存の旅行とは全く異なる「現地の人々の家に宿泊し、ローカルな目線で旅をする」という旅行スタイルは、新しい旅の形として世界中で着実に広がりを見せている。このようなサービスを提供している宿泊サイトは、Wimdu・Homestay booking・Korea stay・Airbnb 等、挙げれば切が無いが、私が主に使用している Airbnb の場合、リストアップされている宿泊先やその価格は実に幅広く、現在（2011 年 11 月 11 日現在）では 192 カ国、19,700 以上の街で旅行者が自分好みの宿泊先を探すことが出来る。珍しい所では、1泊 131 ドルで 1841 年に建設されたイングランドのお城に宿泊することも出来るし、1泊 100 ドルでフランスの農場やワインハウスに体験付きのステイをすることも可能である。特に、私の住んでいるソウルのホストは、一般の韓国人家庭が多いので、1泊 20 ドル朝食付きという驚きの安さで、ソウル市内を旅行するついでに気軽に韓国の家庭の実生活を垣間見ることも出来る。

私は無料宿泊サイトのカウチサーフィンから始めて、2011 年の初旬から有料の Airbnb に移行してきたが、今までにマレーシア・シンガポール・台湾・ベトナム・中国・香港・ロシア・スイス・ドイツ・ポルトガル・イギリス等、計 19 カ国 37 名が我が家で宿泊していった。その中でも特に思い出深いのが、イギリスの現職の環境大臣の娘やロイター通信の記者、マレーシアの国営放送のプロデューサー達だった。彼らとは、マッコリを片手に地元の酒屋で語り合い、本当に楽しい時間を過ごさせてもらった。このように、短期の海外旅行中に現地の人々と現地人しか知らない酒屋で気兼ね無しに語り合う事が出来るのも、Airbnb の旅の醍醐味の一つである。

■最後にこれから海外へ飛び出そうとする大学生の皆さんへ

無料のカウチサーフィンの時には、一人旅の女子学生を多くホストしていた。当時の我が家は地下鉄駅直結のセキュリティが厳重なマンションであったので、安心・安全を重視する一人旅の女子学生には打って付けだったようだ。その中には英語での意思疎通が少々困難な中国人などもいたが、意外に何とでもなるものである。もし、大学生の皆さんが長期の休暇中に少しの冒険や新しい発見を求めるのならば、是非カウチサーフィンのホストやゲストになってみては如何だろうか？そこには、あなたが今までの海外旅行では体験した事が無い新しい世界が広がっているかもしれない。ただし、安全管理はもちろん自己責任であるので、海外でのホスト探しはくれぐれも慎重に！！そして、どうしても不安な場合は、我が家のような海外在住の日本人ホストを探すのも一つの方法である。